

M2M センサネットサービス導入ガイド

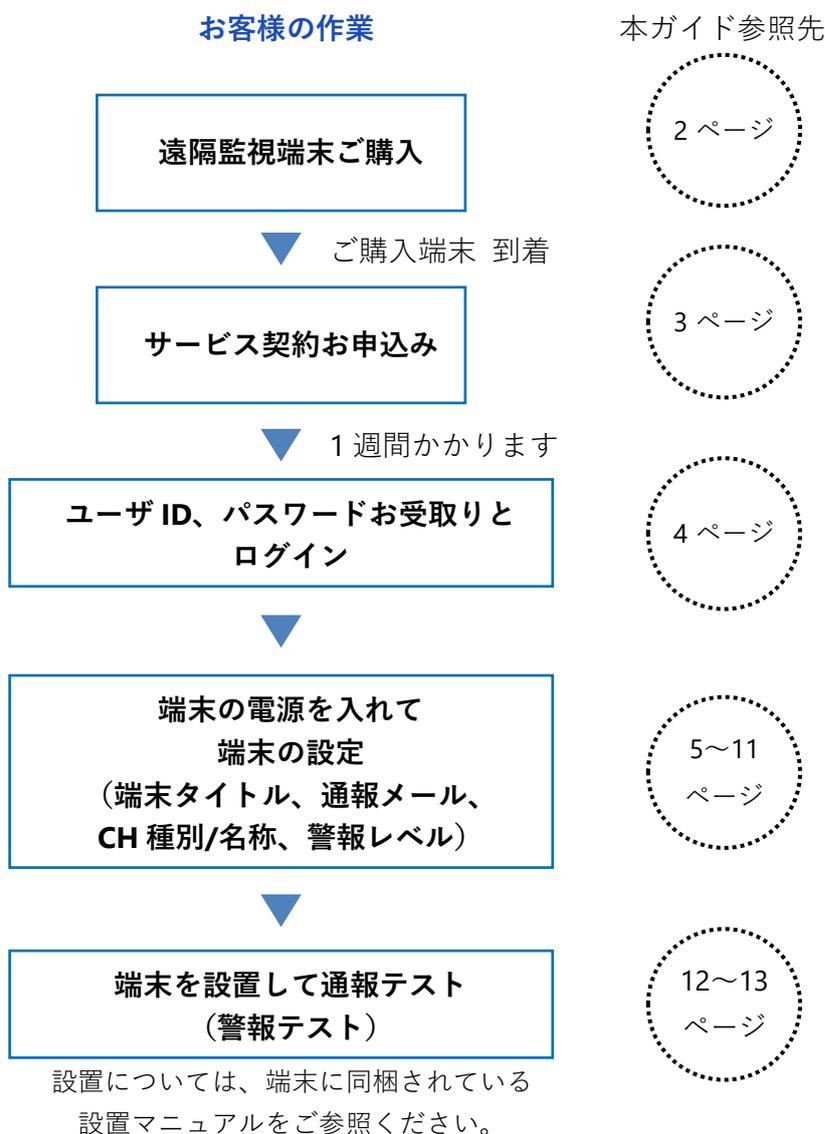
【絶縁監視編】

「M2M センサネットサービス導入ガイド」は、絶縁監視サービスをご検討中のお客様や、初めてご利用になるお客様を対象にして、遠隔監視端末のご購入からサービスご利用を開始するまでを説明します。

本ガイドをよくお読みのうえ、M2M センサネットサービスを正しくお使いいただき、本サービスをお客様の事業にお役立てください。

ご利用開始までの流れ

はじめに、遠隔監視端末のご購入から、実際にご利用いただくまでの流れを説明します。

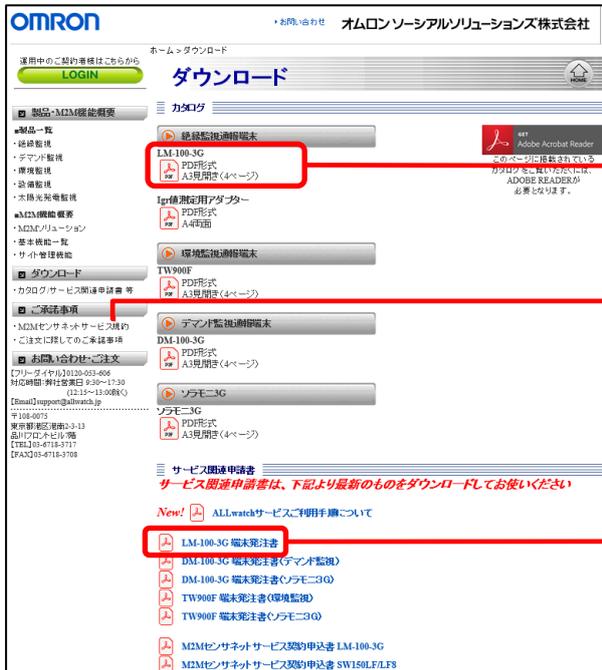


注意事項

以下 2～4 ページで紹介する書式などは、弊社に直接ご注文いただいたり、サービスお申込みを行われる場合のものです。弊社の代理店にご注文・お申込みをいただく場合は、書式が異なる場合がございますので、あらかじめご注意ください。

遠隔監視端末のご購入と M2M センサネットサービス契約お申込み

本サービスをご利用いただくためには、絶縁監視通報端末をご購入いただき、M2M センサネットサービスをお申込みください。弊社ホームページ <https://www.allwatch.jp/> の左側メニュー「ダウンロード」から「カタログ」「ご発注書・ご契約申込書」をダウンロードできます。



ダウンロードできる書類

カタログ

M2M センサネットサービス規約

ご発注書・ご契約申込書

ご発注書・ご契約申込書の書き方

必要事項をご記入のうえ、郵送・FAX いただくか、または弊社営業担当へお渡しください。

1.発注者情報およびサービス申込者

お客様の情報をご記入になり、押印のうえ提出してください。

「お客様番号」はすでにお持ちのお客様のみ記入してください。

※「お客様番号」は初めてサービス契約を申し込んだ際に送付される「ユーザ ID・パスワードのご案内」(4 ページ参照)に記載されています。「お客様 ID」が「お客様番号」です。

2.ご発注商品

- 商品の仕様についてはカタログをご覧ください。
- 「ご注文番号」欄はお客様の控えとして、必要に応じて記入してください。御社内の注文番号になります。
- 「単価」はあらかじめ弊社営業担当にご確認いただいた額を記入してください。

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社 (株)
ALLwatch 絶縁監視

FAX : 03-6718-3708

お申込日 年 月 日

4G LTE対応 絶縁監視装置「AZ100」
ご注文書・ご契約申込書 ※赤枠内をご記入ください

ご注文に際してはお客様専用<https://social.solutions.omron.com/ja/products/service/membership/order/>にアクセスし、以下のとおり入力します。
※お客様専用ページは<https://www.omron.co.jp/customer/privacy.html>の「個人情報を取得していること」をご覧ください。

1. 欄様のご発注者およびサービスお申込者

ご住所	〒	お届け先	<input type="checkbox"/> お客様番号のご発注者名 <input type="checkbox"/> ご発注者と同じ場合はチェック
会社名	印	ご住所	〒
部署名		会社名	
TEL	TEL FAX	部署名	TEL FAX

2. ご発注商品

絶縁監視装置「AZ100」【同梱品】 通信用アンテナ x 1個 乾電池 x 6個
オムロン製ZCT(4ピン)をお持ちの方は「入れ換えセット」を選択 ※電池ケーブルは付属しません。お発注をご希望ください。
※1.1.1欄のZCT交換ケーブルはご注文時にご選択いただけます。

標準セット	商品コード	ご注文数	単位	数量	計(数量)
{セット品} ZCT (4ピン) 4m x 2個	OSSAZ100A_CP		個		
入れ換えセット					
{セット品} ZCT交換ケーブル x 2個	OSSAZ100B_CP		個		

for計測用オプション品
※1.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。1.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。1.1.1

計測用オプション品	商品コード	ご注文数	単位	数量	計(数量)
計測用ケーブル 4m	OSSVREFCLA		本		

その他のオプション品

商品名	商品コード	ご注文数	単位	数量	計(数量)
ZCT (4ピン) 4m	OSSZCT4PA		個		
ZCT (4ピン) 延長ケーブル 4m	OSSZCTCL4PA		個		
ZCT交換ケーブル	OSSZCTCL4AA		個		
外部アンテナ 5m	OSK37V0161E		個		
送 票 別 冊 絶縁監視装置の取扱説明書	OSKCAR		式		

納入希望日 年 月 日 合計(数量)

3. サービス申込 (M2Mセンサネットサービス規約) (<https://www.allwatch.jp/service/ultra.html>)に同意し、以下のとおり契約を申し込みます。

(1) ご契約サービス LTE絶縁監視サービス (初回登録手数料 (1/回))

(2) ご利用開始希望日 年 月 日

(3) お支払いサイクル 翌1年分前払い (定期請求毎月1月) 翌6ヶ月分前払い (定期請求毎月1月/7月)

4. お支払い方法 銀行振込 ※商品お申込みと紐づく。 クレジットカード ※別途お申込みが必要です
(※銀行振込・クレジットカードに入会ください。(※銀行振込の取り扱いがある場合は限りなく))

5. その他

※1.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。1.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。1.1.1

※2.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。2.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。2.1.1

※3.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。3.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。3.1.1

※4.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。4.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。4.1.1

※5.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。5.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。5.1.1

※6.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。6.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。6.1.1

※7.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。7.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。7.1.1

※8.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。8.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。8.1.1

※9.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。9.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。9.1.1

※10.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。10.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。10.1.1

※11.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。11.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。11.1.1

※12.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。12.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。12.1.1

※13.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。13.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。13.1.1

※14.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。14.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。14.1.1

※15.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。15.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。15.1.1

※16.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。16.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。16.1.1

※17.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。17.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。17.1.1

※18.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。18.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。18.1.1

※19.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。19.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。19.1.1

※20.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。20.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。20.1.1

※21.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。21.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。21.1.1

※22.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。22.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。22.1.1

※23.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。23.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。23.1.1

※24.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。24.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。24.1.1

※25.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。25.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。25.1.1

※26.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。26.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。26.1.1

※27.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。27.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。27.1.1

※28.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。28.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。28.1.1

※29.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。29.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。29.1.1

※30.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。30.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。30.1.1

※31.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。31.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。31.1.1

※32.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。32.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。32.1.1

※33.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。33.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。33.1.1

※34.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。34.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。34.1.1

※35.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。35.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。35.1.1

※36.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。36.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。36.1.1

※37.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。37.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。37.1.1

※38.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。38.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。38.1.1

※39.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。39.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。39.1.1

※40.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。40.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。40.1.1

※41.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。41.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。41.1.1

※42.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。42.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。42.1.1

※43.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。43.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。43.1.1

※44.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。44.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。44.1.1

※45.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。45.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。45.1.1

※46.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。46.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。46.1.1

※47.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。47.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。47.1.1

※48.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。48.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。48.1.1

※49.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。49.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。49.1.1

※50.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。50.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。50.1.1

※51.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。51.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。51.1.1

※52.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。52.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。52.1.1

※53.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。53.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。53.1.1

※54.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。54.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。54.1.1

※55.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。55.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。55.1.1

※56.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。56.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。56.1.1

※57.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。57.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。57.1.1

※58.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。58.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。58.1.1

※59.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。59.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。59.1.1

※60.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。60.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。60.1.1

※61.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。61.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。61.1.1

※62.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。62.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。62.1.1

※63.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。63.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。63.1.1

※64.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。64.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。64.1.1

※65.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。65.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。65.1.1

※66.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。66.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。66.1.1

※67.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。67.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。67.1.1

※68.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。68.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。68.1.1

※69.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。69.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。69.1.1

※70.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。70.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。70.1.1

※71.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。71.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。71.1.1

※72.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。72.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。72.1.1

※73.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。73.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。73.1.1

※74.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。74.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。74.1.1

※75.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。75.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。75.1.1

※76.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。76.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。76.1.1

※77.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。77.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。77.1.1

※78.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。78.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。78.1.1

※79.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。79.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。79.1.1

※80.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。80.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。80.1.1

※81.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。81.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。81.1.1

※82.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。82.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。82.1.1

※83.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。83.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。83.1.1

※84.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。84.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。84.1.1

※85.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。85.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。85.1.1

※86.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。86.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。86.1.1

※87.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。87.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。87.1.1

※88.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。88.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。88.1.1

※89.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。89.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。89.1.1

※90.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。90.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。90.1.1

※91.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。91.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。91.1.1

※92.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。92.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。92.1.1

※93.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。93.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。93.1.1

※94.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。94.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。94.1.1

※95.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。95.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。95.1.1

※96.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。96.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。96.1.1

※97.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。97.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。97.1.1

※98.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。98.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。98.1.1

※99.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。99.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。99.1.1

※100.1.1欄の計測用ケーブルは必須です。100.1.1欄の絶縁監視装置の対応機種が異なります。100.1.1

ご注文書・ご契約申込書の書き方

※ご契約にあたっては、サービス規約「オムロン M2M センサネットサービス規約」をあらかじめご確認ください。(規約の掲載については2ページ「ダウンロードできる書類」参照)

3. (1) サービス申込

ご契約サービスについて確認ください。弊社営業担当にご相談ください。

3. (2) ご利用開始予定日

ご利用開始予定日を記入ください。

3. (3) お支払いサイクル

お支払いサイクルを選択し、チェックを入れてください。

・翌1年分前払い

1～12月の料金を前払い

・翌6ヶ月分前払い

1～6月/7～12月の料金を前払い

3. (4) お支払い方法

銀行振込かクレジットカード払いかを選択ください。クレジットカード払いの場合は別途お申込みが必要ですので弊社営業担当にご相談ください

ユーザ ID とパスワード

初めて M2M センサネットサービスにお申し込みになると、弊社より「M2M センサネットサービス 契約 ユーザ ID・パスワードのご案内」をお届けします。

ご利用開始日以降、M2M センサネットにログインして通報メールを受信するための設定を行います。

この書類には、ログインに必要なユーザ ID、パスワードが記載されています。設定が終わってもサービスのご利用に必要な情報ですので、大切に保管してください。

見本

**M2Mセンサネットサービス契約
ユーザID・パスワードのご案内**

オムロン株式会社
M2M担当 オムロン 太郎 様

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度は、弊社「M2Mセンサネットサービス契約」をお申込みいただきまして誠にありがとうございます。ご利用内容を下記の通り、ご連絡申し上げます。
今後とも、当社サービスをご愛顧の程、お願い申し上げます。

敬具

ユーザIDとパスワードのお知らせ

- ご利用開始日 2019/3/1
- グループ名 オムロン株式会社
- お客様ID **omron**
- パスワード **samplepw**
エス・イー・エム・ピー・エル・イー・ピー・ダブリュー
- URL https://ew.allwatch.jp/term_sub/login.php

ALLwatch HP
監視サービスソリューション
+LOGIN

左黄緑色の
LOGINボタンより

お問い合わせ先

設定・取扱方法・故障などのお問い合わせ先

M2M コールセンター
0120-053-606 (受付時間: 弊社営業日 9:30~17:30 (12:15~13:00除く))

お電話の前に、以下の内容をご用意ください。
(1) 本製品のID 番号
(2) 本製品の型名

製品概要・ご注文・ご契約などのお問い合わせ先

オムロン ソーシャルソリューションズ株式会社
〒108-0075 東京都港区港南2-3-13 品川フロントビル7F
■電話番号 0120-053-606 (受付時間: 弊社営業日 9:30~17:30 (12:15~13:00除く))
■FAX番号 03-6718-3708 ■Eメール support@allwatch.jp
※ Eメール、FAX は随時受け付けております。
■URL <https://www.allwatch.jp/>

お客様のユーザ ID (お客様 ID) とパスワードをご記入ください。

ユーザ ID
(お客様 ID)

.....
パスワード

ログイン

遠隔監視通報システム
ALLwatch®

ログイン認証画面

ユーザID

パスワード

ログイン

「パスワード」をお忘れの場合は、[こちら](#)から確認してください。

[カタログ/サービス関連申請書等のダウンロードはこちら](#)

お手元のパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどで、下記の URL を表示します。

https://ew.allwatch.jp/term_sub/login.php

ユーザ ID と パスワード を入力して、「ログイン」をクリックします。

端末の設定

M2M センサネットにログインしたら利用を開始するために、端末タイトル（端末の名称）、通報メール設定、チャンネル（CH）名称、警報レベル設定 をします。

■ 端末タイトルの設定

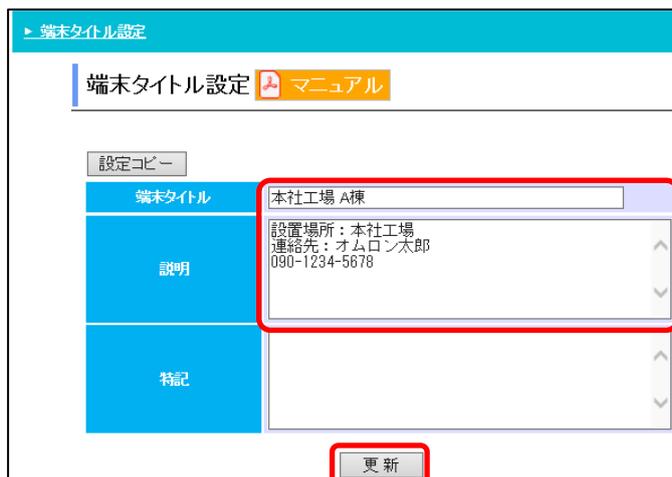


- 1 ログイン後の画面には、サービス申込みをした端末が表示されます。端末をクリックします。

サービス申込みをした端末が画面に表示されるのは、サービス申込書に記入した「ご利用開始予定日」からです。ご利用開始予定日まででは表示されません。



- 2 端末メニューの「端末設定 > 端末/CH/警報レベル設定」をクリックします。



- 3 「端末タイトル」を入力します。
「説明」に入力すると、ログイン後の端末一覧に表示されます。複数の端末を設置した場合などに、区別することができます。
- 4 設定が終わったら「更新」ボタンをクリックします。

更新完了のメッセージが表示されます。

次は通報メールの設定をします。

■ 通報メール設定

異常時に送信される通報メールの送信先メールアドレス、送信内容を設定します。



- 1 端末メニューの「通報先設定」をクリックします。



- 2 この画面で通報先メールアドレスと通報内容を設定します。ここでは一例として通報テストの設定方法を記載します。
その他の設定方法については、画面左上の「マニュアル」を参照してください。



- 3 通報先メールアドレス欄に、端末からのテストメールを受信するアドレスを入力します。
複数メールアドレスを設定する場合は、カンマ (,) で区切って入力してください。最大 1,024 文字まで入力可能です



- 4 「メール確認テスト」の「送信」ボタンをクリックします。入力したメールアドレスへ、テストメールがただちに送信されますので、メールが着信することを確認します。
- 5 「テスト SW」にチェックマークを付けます。
これは、端末のテストスイッチを押したときにテストメールが送信される設定です。
- 6 設定が終わったら、画面上方または下方の「登録」ボタンをクリックします。

次は端末の設定をします。

メールが届かなかったら

メールが届かない場合は、次の点を確認してください。

- ・設定したメールアドレスに間違いがないか。（特に全角文字・半角文字、大文字・小文字の違いや、アンダーバーとハイフンの違いなど）
- ・送信先でドメインフィルタ（迷惑メールフィルタ）によって着信拒否をされていないか。（ドメインフィルタを設定している場合は、m2m-dc.ne.jp からのメール着信を許可してください）

これより先の設定については、必ず端末の電源を入れた状態で行ってください。

■CH 種別の設定 ※LM-100-3G の場合

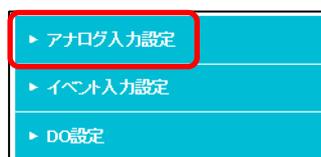
LM-100-3G では、アナログ入力チャンネルの一部は設定により計測内容を選択することができ、チャンネル構成と工場出荷時の設定は以下のようになっています。

CH	計測内容	工場出荷時設定
AI00～AI03	Io 方式漏電 または 温度	温度
AI04～AI05	Io 方式漏電 (固定)	
AI06～AI07	Io 方式漏電 (下記の設定により Ior 方式漏電計測可能)	
AI08	AI06 の Ior 漏電値 (単相 または 三相)	Ior 計測なし
AI09	AI07 の Ior 漏電値 (単層 または 三相)	Ior 計測なし

ここでは、工場出荷時設定とは異なる計測内容でご利用になる場合の設定方法を説明します。
(工場出荷時設定での計測内容でご利用になる場合は、この設定は不要です)



1 端末メニューの「端末設定>・端末/CH/警報レベル設定」をクリックします。



2 「アナログ入力設定」を選択します。

CH種別設定				
CH名称	Io	温度	Ior計測	単相/三相選択
Io1 または TH1(AI00)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
Io2 または TH2(AI01)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
Io3 または TH3(AI02)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
Io4 または TH4(AI03)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
Io5(AI04)	<input checked="" type="radio"/>			
Io6(AI05)	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 単相Ior <input checked="" type="radio"/> 三相Ior (AI08データとして計測)
Io7(AI06)	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 単相Ior <input checked="" type="radio"/> 三相Ior (AI09データとして計測)
Io8(AI07)	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 単相Ior <input checked="" type="radio"/> 三相Ior (AI09データとして計測)

3 AI00～AI03 について、漏電計測を行うチャンネルでは「Io」を選択します。

4 AI06、AI07 について、Ior 計測を行う場合は「Ior 計測」にチェックを付け、「単相 Ior」または「三相 Ior」を選択します。

5 「送信」ボタンをクリックします。

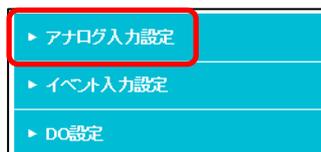
「送信」ボタンをクリックすると、設定値が端末に送信されますので、次ページの方法で端末側の設定が完了したことを確認します。



6 端末メニュー下の階層表示で、操作中の端末を選択します。



7 もう一度、端末メニューの「端末設定 > 端末/CH/警報レベル設定」をクリックします。



8 「アナログ入力設定」を選択します。

CH種別設定				
CH名称	IO	温度	I _r 計測	単相/三相選択
I _o 1 または TH1(A100)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
I _o 2 または TH2(A101)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
I _o 3 または TH3(A102)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
I _o 4 または TH4(A103)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
I _o 5(A104)	<input checked="" type="radio"/>			
I _o 6(A105)	<input checked="" type="radio"/>			
I _o 7(A106)	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 単相 I _r (A106データとして計測)
I _o 8(A107)	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 単相 I _r (A107データとして計測)

送信

9 先ほど設定した内容になっていることを確認します。

9 で設定した内容になっていない場合は

しばらく待ってからもう一度 6 ~ 9 の手順を繰り返してください。

設定した内容になっていないまま、次の操作に進むと誤動作の原因となります。

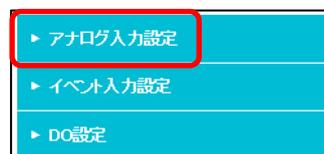
■CH 名称、警報レベルの設定

漏洩電流が警報レベルで設定した数値を超えると、警報メールが送信されます。警報レベルは 3 段階で設定できます。

警報レベル	初期値	説明
H	50mA	「警報レベル一時設定」で一時的に変更できます。 ※漏電が発生して通報メールが頻繁に送られてくる場合などに、警報レベルを一時的に下げても警報の多発を防ぐことができます。
HH	150mA	「アナログ入力設定」で設定します。
HHH	空欄	



1 端末メニューの「端末設定 > 端末/CH/警報レベル設定」をクリックします。



2 「アナログ入力設定」を選択します。

CH名称	入力種別 換算式	小数点 以下 桁数	表示	警報レベル設定(ユーザー用)			発生遅延 (秒)	復帰遅延 (秒)	継続時間 (秒)
				HHH	HH	H			
A100	温度1	設定	<input checked="" type="checkbox"/>			90	60	60	300
A101	温度2	設定	<input checked="" type="checkbox"/>			90	60	60	300
A102	ZCT1	設定	<input checked="" type="checkbox"/>			90	60	60	300
A103	ZCT2	設定	<input checked="" type="checkbox"/>			90	60	60	300
A104	Io5	設定	<input type="checkbox"/>		150	50	60	60	300
A105	Io6	設定	<input type="checkbox"/>		150	50	60	60	300
A106	ZCT3	設定	<input checked="" type="checkbox"/>	120	100	50	60	60	300
A107	ZCT4	設定	<input checked="" type="checkbox"/>	150	90	50	60	60	300
A108	ZCT3 Ibr	設定	<input checked="" type="checkbox"/>	90	60	50	60	60	300
A109	ZCT4 Ibr	設定	<input checked="" type="checkbox"/>	90	60	50	60	60	300

3 使用するチャンネルの「CH 名称」、「表示」チェック、「警報レベル」を設定します。

警報レベルは数値が HHH > HH > H となるように設定します。

「表示」チェックを OFF にすると、各機能画面でデータが表示されなくなります。

(未使用のチャンネルでは「表示」チェックを OFF にしておくことをお勧めします)

4 漏電チャンネルの警報レベル H を変更する場合は、「一時設定」ボタンをクリックすると編集できるようになります。(「一時設定解除」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります)

■ZCTタイプ ※AZ100の場合

AZ100 では、チャンネルごとに接続する ZCT のタイプを選択します。

- ① AZ100 付属の ZCT : ZCT (4 ピン) を選択します
- ② これまでの端末の ZCT : ZCT (3 ピン) を選択します。

<注意事項>

- ・動作試験、精度試験をご利用になる場合は、AZ100 付属 ZCT (4 ピン) を使用してください。
- ・これまでの端末の ZCT (3 ピン) を使用する場合は、変換ケーブル (3 ピン→4 ピン) が必要です。ただし、ZCT (3 ピン) では動作試験、精度試験はご利用できません。
- ・**ZCT タイプ選択を間違えると、正しい漏電値が計測できません。**

CH名称		入力 種別 換算式	小数点 以下 桁数	表示	ZCTタイプ
A100	ZCT1	設定	1 ▼	☑	ZCT(4ピン) ▼
A101	ZCT2	設定	1 ▼	☑	ZCT(3ピン) ▼
A102	ZCT3	設定	1 ▼	☑	ZCT(4ピン) ▼
A103	ZCT4	設定	1 ▼	☑	ZCT(3ピン) ▼

ZCT タイプ

(AZ100 以外の機種では表示されません)

接続する ZCT に応じて、

「ZCT (4 ピン)」または「ZCT (3 ピン)」

を選択します。

5 設定が終わったら「送信」ボタンをクリックします。

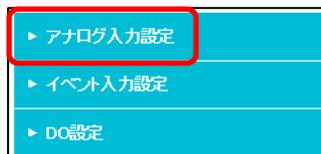
「送信」ボタンをクリックすると、設定値が端末に送信されますので、次ページの方法で端末側の設定が完了したことを確認します。



6 端末メニュー下の階層表示で、操作中の端末を選択します。



7 もう一度、端末メニューの「端末設定 > 端末/CH/警報レベル設定」をクリックします。



8 「アナログ入力設定」を選択します。

9 先ほど設定した内容になっていることを確認します。

CH名称		入力種別 換算式	小数点 以下 桁数	表示	ZCTタイプ	単位	HHH	HH	H	発生遅延 (秒)	復帰遅延 (秒)	継続時間 (秒)
AI00	ZCT1	設定	2	<input checked="" type="checkbox"/>	ZCT(4ピン)	mA		150	50	60	60	300
AI01	ZCT2	設定	2	<input checked="" type="checkbox"/>	ZCT(4ピン)	mA		150	50	60	60	300
AI02	ZCT3	設定	2	<input checked="" type="checkbox"/>	ZCT(4ピン)	mA		150	50	60	60	300
AI03	ZCT4	設定	2	<input checked="" type="checkbox"/>	ZCT(4ピン)	mA		150	50	60	60	300

送信

9 で設定した内容になっていない場合は

しばらく待ってからもう一度 6 ~ 9 の手順を繰り返してください。

設定した内容になっていないまま、次の操作に進むと誤動作の原因となります。

■漏電発生時の通報メールの設定

漏電発生時の通報メールの設定を行います。

1 メールアドレスを登録した通報先設定画面（6 ページ）で、メールで通報してほしい「漏洩 HHH、HH、H」の「発生」「復旧」にチェックを付けます。

2 設定が終わったら、画面上方または下方の「登録」ボタンをクリックします。

異なる条件や通報時間帯を設定する場合は、新たな通報グループを使用します。

以上で設定は完了です。

次は、実際に通報メールが受信できるかテストします。

通報テスト

端末の側面にあるテストスイッチを短押しします。

※テストスイッチを長押し（3 秒以上）すると、押した直後と 30 秒後、さらに 30 秒後の計 3 回、テストメールが送信されます。扉などがついた設備内部に設置する場合、扉を閉めても通信できるかどうか確認できます。

携帯電話で受信した通報テストメールの例

Time:2019/02/21 10:07	送信日時
From: alert_ew@m2m-dc.ne.jp	発信元アドレス
To:test@docomo.ne.jp	送信先アドレス
Subject: [テスト SW 送信] 3 本社工場 A 棟	[件名] 電波強度 端末タイトル

本社工場 A 棟	端末タイトル
(a0f789)	端末 ID
テスト SW 送信	警報内容（例ではテストスイッチが押されたことを表しています）
温度 1 22.5(°C)	アナログチャンネル名称と計測値
温度 2 34.6(°C)	
温度 3 24.8(°C)	
温度 4 30.1(°C)	
ZCT1 0.20(mA)	
ZCT2 5.24(mA)	
ZCT3 10.74(mA)	
ZCT4 13.25(mA)	
a0f789	端末 ID
2019/02/21 10:07:34	発生時刻（テストスイッチが押された日時）
電波強度 3	電波強度 基地局の電波強度を 0（圏外）～3 で表示
電池電圧 4.0V	端末の電池電圧
◆携帯電話向けログイン画面◆	端末情報（ここをクリックすると、該当の端末画面にアクセスできます）
http://ewi.allwatch.jp/ term_sub/i/login.php?s= eNortjK	

漏電警報発生時の通報

漏電警報が発生するとメールで通報されます。

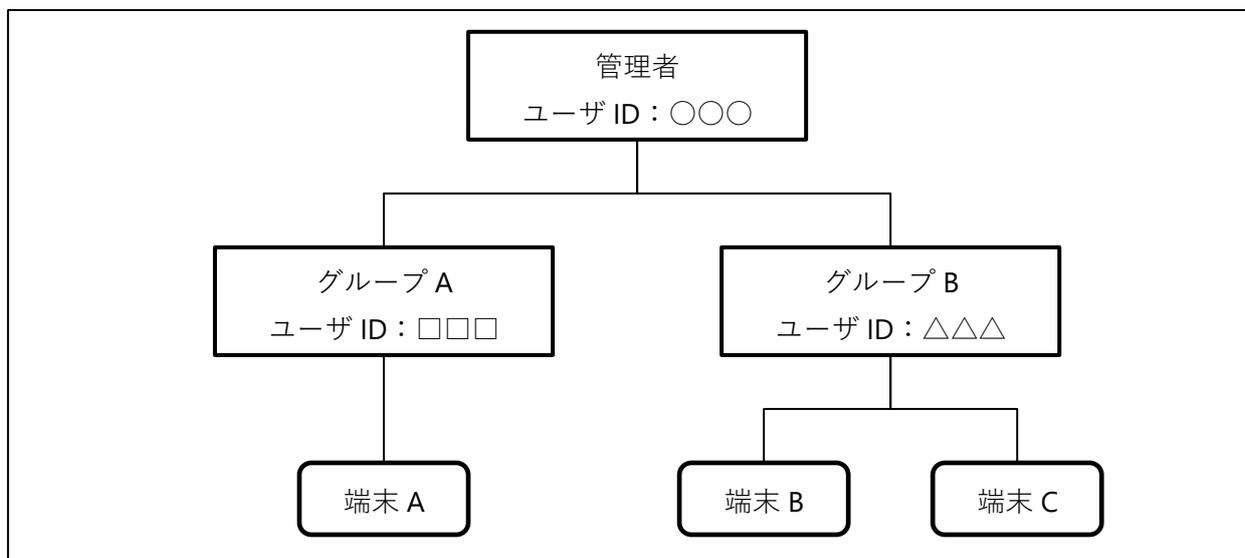
携帯電話で受信した漏電警報メールの例

Time:2019/02/22 13:38	送信日時
From: alert_ew@m2m-dc.ne.jp	発信元アドレス
To:test@docomo.ne.jp	送信先アドレス
Subject: [H 発生] 3 本社工場 A 棟	[件名] 電波強度 端末タイトル

本社工場 A 棟	端末タイトル
(a0f789)	端末 ID
HH 発生(ZCT1)	警報内容 と 警報発生チャンネル名称
温度 1 18.3(°C)	アナログチャンネル名称と計測値
温度 2 28.1(°C)	
温度 3 22.5(°C)	
温度 4 36.7(°C)	
ZCT1 70.54(mA)	
ZCT2 0.27(mA)	
ZCT3 12.38(mA)	
ZCT4 18.47(mA)	
a0f789	端末 ID
2019/02/22 13:38:24	発生時刻 (警報が発生した日時)
電波強度 3	電波強度 基地局の電波強度を 0 (圏外) ~3
電池電圧 3.9V	で表示 端末の電池電圧
◆携帯電話向けログイン画面◆	端末情報 (ここをクリックすると、該当の端末画面にアクセスできます)
http://ewi.allwatch.jp/ term_sub/i/login.php?s= eNortjK	

端末管理方法

M2M センサネットサービスでは、グループごとに端末を管理することができます。また、グループにユーザ ID、パスワードを登録することで、グループ配下の端末のみを対象とする子ユーザとして使用できます。



■グループ作成

オムロン株式会社 マニュアル

設置グループ登録 センサグループ登録

■端末リスト

端末名	説明	機種
本社工場 A棟 (sk729)	設置場所本社工場 連絡先:オムロン次郎 090-1234-5678	-

設置グループ登録 センサグループ登録

- 1 ログイン後の画面で、「設置グループ登録」をクリックします。

設置グループ登録 マニュアル

グループ名	本社工場
ユーザID	omron-hansya
パスワード	*****
パスワード(確認)	*****
説明	
特記	

登録

- 2 グループ名を入力し「登録」ボタンをクリックします。

ユーザ ID、パスワードを入力すると、子ユーザとして登録できます。

設置グループ登録 確認 入力画面へ戻る

以下の内容で登録します。よろしいですか？

グループ名	本社工場
ユーザID	omron-hansya
パスワード	*****
説明	
特記	

登録

- 3 確認画面で「登録」ボタンをクリックします。

続いて、作成したグループに端末を登録（割り当て）します。

■ グループへの端末登録



- 1 グループ登録完了のメッセージが表示されますので「登録したグループに端末を登録する」をクリックします。

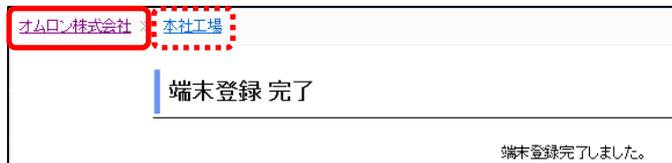
後から端末を登録することもできます。
(16 ページ 補足 参照)



- 2 端末一覧が表示されますので、グループに登録する端末にチェックを付け「登録」ボタンをクリックします。



- 3 確認画面が表示されますので「登録」ボタンをクリックします。



- 4 端末登録完了メッセージが表示されますので、階層表示でグループが作成されたことを確認し、最初にログインしたユーザをクリックします。

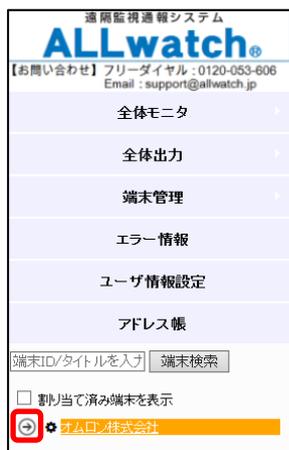


- 5 グループが作成されていることを確認します。

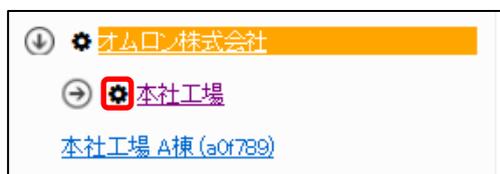
端末はグループに登録（割り当て）したため表示されていません。端末を表示する場合は、「割り当て済み端末を表示」にチェックを付けます。

補足

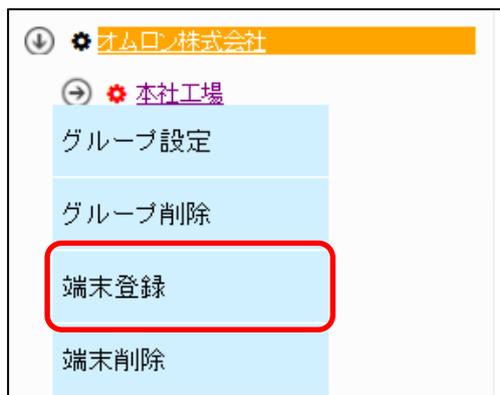
グループ登録後にあらためて端末を登録する場合の方法を説明します。



- 1 画面左下の階層リストで、ログインしているユーザのグループの「」をクリックします。



- 2 グループが展開されますので、端末を登録したいグループの「」アイコンをクリックします。



- 3 表示されるグループメニューから「端末登録」をクリックします。

15 ページの **2** からの手順を操作します。

本書に記載の内容についてご不明点がございましたら、
 弊社サービスデスク (TEL : 0120-053-606) へお問い合わせください
 受付時間は弊社営業日 9:30 ~ 17:30 (12:15 ~ 13:00 を除く)